

ひとまちこころ

宮城県人権擁護委員連合会

会長 鈴木千代子

「人権擁護委員は、あなたの街の相談パートナーです。相談は無料で秘密は厳守しますので困ったことがあったらお気軽に御相談下さい」

身近なところでこのような、ポスターやリーフレットをご覧になったことはありませんか。

人権擁護委員は、法務大臣が委嘱した民間の人たちです。宮城県では、297名の委員が委嘱を受けて活動しています。

「人権」という言葉からあなたはどんな印象を受けますか

「とても大切なもの」それとも「なんだか堅苦しいもの」はたまた「自分には関係のないもの」でしょうか。

「人権」とは「全ての人が生命と自由を確保し、それぞれの幸福を追求する権利」あるいは「人間が人間らしく生きる権利で、生まれながらに持つ権利」であります。人権は難しいものではなく、誰でも心で理解し、感じることでできるものです。

人権擁護委員の主な活動

1「人権相談」 人権相談とは、人々が日常生活の中で様々な悩みや心配ごとを持ったり、差別を受けたり、あるいはトラブルに巻き込まれたりしたときに相談を受け、それを解決するための援助をすることです。

人権擁護委員は、法務局に常駐し、電話・面接相談を行って



います。また、市区町村の公共施設、社会福祉施設等においても、特設人権相談所を開設し、住民の皆様の人権相談に応じています。小・中学生にはSOSミニレターによる相談もあります。

2「人権啓発」 人権啓発活動の目的は、国民に人権尊重の普及高揚を図ることにより、人権を尊重することの重要性を正しく認識してもらうことにあります。一般的にはシンポジウム・講演会・映画会・人権啓発フェスティバル等の各種イベントの実施、小学生イラスト・ポスターの応募、中学生人権作文の応募、人権教室を通しての啓発活動の実施等があります。

昨年の東日本大震災に思うこと

何万人もの人生が一瞬にして変貌し、人権という権利を奪い去られた国民の方々の避難所での生活が始まりました。弱い立場の方々の人権が守られていない避難所での人権相談所の開設、電話相談の周知を致しました。

その後は仮設住宅2万2千世帯を訪問し、困りごと相談、各種手続きの案内をしました。今年度は6、7月にかけて、相談電話の周知の団扇を持ち、仮設住宅を訪問しましたが、感じたことは皆さんに明るい表情が見えたことです。自分からあの日のことを話し、心の整理ができたのではないのでしょうか。一日も早く皆様の復興を願ってやみません。

問い合わせ先 仙台法務局
仙台市青葉区春日町7番25号
TEL 022(225)6230

県内授産製品のご紹介

NPO法人みやぎセルフ協働受注センターでは、働く障害者の方々に応援しています！ URL <http://www.miyagi-selp.org>

復興が一日も早く進むように願いを込めて…

多賀城市栄地区にありました施設「さくらんぼ」は津波で流失してしまい、現在ソニー仙台にて活動しております。被災された家から頂いた銅線を使い、支援への感謝と願いを込めて

楽譜のはじまりであるト音記号をモチーフに、この4月から製作を始めました。(クリップ350円・キーホルダー450円)

私たち被災施設も復興の音符を一音一音刻み歩んでいます。東北を元気に！県内外で只今絶賛販売中です！



▲仙台Jazzクリップ&キーホルダー (ト音クリップ&キーホルダー)

社会福祉法人嶋福社会 さくらんぼ
〒985-0842 多賀城市桜木3-4-1ソニー(株)
仙台テクノロジーセンター内みやぎ復興パーク
TEL 080(1662)1179
✉ sakuranbo@view.ocn.ne.jp
URL <http://www.shimafuku.jp/>

仙台ワークキャンパスは就労継続支援B型で「レストラン和味」の飲食事業を行っております。

当店では、皮・具ともに全て手作りで、通常サイズの3倍というジャンボ餃子が大好評のお店です。このたび餃子製造機を導入し、ヘルシーで体に優しい大根と玉葱をメインの食材にして作った新商品の「大根餃子」の販売を始めました。

是非、お店の方へお越しいただきご賞味下さいませ。お持ち帰り用もご用意しております。



▲大根餃子

社会福祉法人共生福祉会 仙台ワークキャンパス
〒981-1102 仙台市太白区袋原5丁目12-1
TEL 022(741)0998
FAX 022(306)2515
✉ sendai-wc@rondo.ocn.ne.jp
URL <http://www.sendai-wc.com>

